



# Information

## ニコンによる SLM 社株式に対する公開買付けが成功裏に完了へ

2023 年 1 月 20 日

【東京 2023 年 1 月 20 日】株式会社ニコン(以下、「当社」)は、当社が発行済株式の全てを直接保有する子会社である Nikon AM. AG(以下、「買付者」)を通じて実施していた、独リユーベックに本社を置く世界有数の金属アディティブマニュファクチャリング(以下、「金属 AM」) 専業会社の 1 社である SLM Solutions Group AG(フランクフルト証券取引所上場。以下、「SLM 社」)の株式(ISIN コード:DE00A111338 及び DE000A289BJ8)に対する任意的公開買付け(以下、「本公開買付け」)及び同時に実施していた SLM 社が発行した 2026 年を満期とする全ての転換社債に対する任意的公開買付け(以下、「本社債買付け」)の完了にかかる条件が全て充足されたのでお知らせいたします。

当社代表取締役 兼 社長執行役員の馬立稔和は次のように述べています。「本公開買付けが成功裏に完了し、SLM 社と協業できることを大変喜ばしく思います。今後は金属 AM 領域で高い技術力を有する SLM 社と共に、世界の様々な業界の顧客にスピード感をもって新たなソリューションを提供してまいります。当社と SLM 社はデジタルマニュファクチャリング事業を成長させると共に、技術をさらに進歩させることで、ものづくりの世界に革新をもたらすことができると確信しています。」

SLM 社 CEO のサム・オリアリーは次のように述べています。「光学と精密機械分野で最先端の技術・開発力を有するニコンは SLM 社にとって最良のパートナーです。共に技術とイノベーションを重視する環境下で、今後は両社が連携し金属 AM 領域でテクノロジーリーダーシップを更に高めていくことができるでしょう。当社の技術はあらゆる業界にソリューションを提供できることを既に証明していますが、ニコンとパートナーシップを組むことで顧客層はさらに広がると確信しています。」

本公開買付け及び本債券買付けの完了にかかる条件が全て充足され、決済は本日より 5 銀行取引日以内(遅くとも 2023 年 1 月 27 日)に実施されます。

### 報道関係の問い合わせ先

株式会社ニコン 経営管理本部 広報部  
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

上出・ダットワーニ  
03-6433-3741

### ニコンについて

ニコンは、1917 年の設立以来、国内外の市場において、光学技術のパイオニアとしての道を切り開いてきました。現在、高い技術力をもとに、デジタルカメラや双眼鏡などの映像製品から、FPD/半導体露光装置、顕微鏡、測定機などの産業用精密機械、さらに、ヘルスケアの領域においても、さまざまな製品、ソリューションを提供しています。今後、ニコンのコア技術を活かし、材料加工事業を始めとする新たな収益の柱を創出、持続的・中長期的な企業価値向上を目指します。詳細情報はウェブサイトをご覧ください。www.jp.nikon.com

### SLM 社について

SLM 社は、金属アディティブマニュファクチャリング(AM)における統合ソリューションをグローバルで提供しています。金属 AM 業界の黎明期よりリードを続けており、全ての主な産業のお客様の長期的な成功の実現に向け、引き続き金属 AM の未来を牽引しています。SLM 社は世界で最大 12 個のレーザーを備え、1000ccm/h という業界で最高のビルドレートを実現する世界最速の金属アディティブマニュファクチャリング機器を提供しています。SLM 社は、全てのお客様の要望に応えるポートフォリオと、専門家チームによる全てのプロセスにおける緊密な連携により、効率性、生産性、収益性の最大化を通じて、投資に対するリターンの最大化をリードします。SLM 社は、AM は未来の製造の中心と確信しており、お客様をその世界へ、今すぐ牽引する、実績と願望を持っています。SLM 社はドイツ証券取引所に上場しており、カナダ、中国、フランス、インド、イタリア、日本、シンガポール、韓国、米国に拠点(子会社)を構えています。詳細情報はウェブサイトをご覧ください。www.slm-solutions.com

## 免責事項

本発表は情報提供のみを目的としたものであり、SLM社株式の売却を勧誘するものではありません。本発表はSLM社株式の購入の申込みを構成するものではなく、当社が何らかの表明を行うこと、又は法的拘束力のある合意を行うことを目的としたものではありません。本公開買付け及び本社債買付けに関する公示文書には重要な情報が含まれており、投資家及びSLM社株式の保有者は、当該文書を確認することを強く推奨いたします。さらに、本公開買付け及び本社債買付けの対象となるSLM社の有価証券の保有者は、公開買付公示文書の内容及び本公開買付け及び本社債買付けに関して十分な情報に基づく意思決定を行うため、独立した助言を得ていただくことを強く推奨いたします。

ドイツ及び米国以外の国・地域における本発表の公表、送付、配布又は流布については、それらを規制するドイツ及び米国以外の国・地域の法令による規制を受けることがあります。ドイツ若しくは米国に居住地、設立地、所在地又は常居所がない方、又はその他の理由により他の法域の法令の適用を受ける方は、これらの法域の法令についてご自身で確認し、これを遵守していただきますようお願いいたします。

本発表は、そのリリース、公表又は配布が関連法令に違反することとなるいかなる法域においても、また、いかなる法域に対しても、その全部又は一部を問わず、リリース、公表又は配布を行うものではありません。

米国に居住地、設立地、所在地又は常居所がある方は、以下の事項をご確認ください。

本公開買付け及び本社債買付けは、米国証券取引所法第14条(e)及び同条に基づくレギュレーション14Eに基づき、これに従って行われますが、本公開買付け及び本社債買付けは非米国企業の証券に対するものであり、米国以外の法域の開示・手続規則、基準及び慣行に従うこととなります。

法域によっては、本発表の公表又は配布が違法とされている場合や、一定の範囲の方に限って認められている場合があります。

## 将来見通しに関する注記事項

本発表は、当社、買付者及びSLM社に関する「将来に関する記述(forward-looking statements)」又はそれに該当するものを含んでおります。本発表に記載される過去の事実以外の記述は将来に関する記述であることがあります。「～を目標としている(targets)」、「～を計画している(plans)」、「～と考えている(believes)」、「～と予想される(expects)」、「～を目的としている(aims)」、「～する意向である(intends)」、「～するつもりである(will)」、「～する可能性がある(may)」、「～が期待される(anticipates)」、「～と見込まれる(estimates)」、「～と予測する(projects)」及びこれらに類似する意味の単語や言葉、又はそれらの否定文は、将来に関する記述です。将来に関する記述には、(i) 今後の資本支出、費用、収入、利益、シナジー効果、経済動向、負債、財務状況、配当政策、損失及び将来予測、(ii) 事業及び経営戦略、及び、本公開買付け及び本社債買付けによって当社、買付者又はSLM社にもたらされる潜在的なシナジー効果及び事業の拡大と成長、並びに (iii) 当社又はSLM社の事業に対する政府規制の影響に関する記述を含みます。

将来に関する記述は、期待されている結果に重大な影響を与うるリスクや不確実性を伴い、一定の重要な前提に基づいています。多くの要因により、実際の結果は、将来に関する記述において想定又は示唆されていたものと著しく異なることがあります。かかる不確実性やリスクに鑑み、本発表を閲覧される方は、その記述が行われた日付け時点における予想でしかない将来に関する記述に過度に依存しないようご注意ください。当社、買付者及びSLM社は、適用法令により義務付けられる場合を除き、本発表に含まれる将来に関する記述又はその他の記述を更新する義務を負うものではありません。

本発表に記載又は言及されている記述は、一切、収益予想として行われているものではありません。